

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 登別地区保護司会補助金
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	5	犯罪のない安全なまちづくり
小分類	1	防犯対策の推進
主要な施策	2	地域ぐるみの防犯活動の推進
事務事業番号	006	事務事業コード 23512006 事業開始年度 昭和 4 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	登別地区保護司会補助金
------	------	------------	-------------

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)</p> 登別地区保護司会（登別市と白老町の保護司で構成）
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)</p> 登別地区保護司会が行っている事業を推進するため、補助金を交付し支援する。 ・主な事業 「社会を明るくする運動」街頭パレードの参加・協力、青少年の補導活動の実施、保護司会活動充実のための研修会や情報交換など
目指す姿 (成果)	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)</p> 犯罪や罪を犯した者の更生を支援するとともに、犯罪予防の啓発に努め個人及び公共の福祉に寄与し、明るい社会を実現する。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)</p> 保護司法（昭和 2 5 年法律 2 0 4 号）

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		人	目標値	200	200	200	200	200
			実績値	190				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業の 財源内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	250	250	250	250	250	750
合 計				250	250	250	250	250	750
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	331	346			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		331	346			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 保護司の資質向上と保護司の活動を支援するため、補助することは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 社会を明るくする運動の参加・協力、青少年の補導活動、公開ケース研究会など年間を通して活動しており成果は上がっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 研修・研究などを通して活動の充実を図ることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 活動経費は、会費や市町からの補助金、寄付金などで賄われており、必要最小限である。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	犯罪の予防啓発や地域社会の浄化を推進するため、保護司会への支援が必要である。
----	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）